



## 『東京2020後の農産物販売とGAP戦略』

### お知らせ Topics

2019-3 2018年度 2018年度GAPシンポジウムは、好評のうちに終了しました。ご参加くださりありがとうございました。

2019-1-28 プログラムを更新いたしました。  
[詳細はこちらから。](#)

2018-12-31 プログラムを更新いたしました。  
[詳細はこちらから。](#)

2018-10-4 2018年度GAPシンポジウムの開催概要を更新いたしました。  
[詳細はこちらから。](#)

### 開催スケジュール

**2019年2月27日(水)～28日(木)**

東京都文京区弥生1-1-1

東京大学農学部内 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)

### プログラム

プログラムを更新いたしました。

[詳細はこちらから。](#)

### ご参加に向けて

今回のシンポジウムへのご参加に向けた事前情報として、スペインのGAP戦略の概要をご確認ください。

**「スペインには、日本でのGAP推進のヒントがいっぱい！」**

[▲ ページのトップへ戻る](#)

Home ホーム	Symposium 開催概要	Program プログラム	History 過去のシンポジウム	Application 参加申込	Access アクセス
-------------	-------------------	------------------	----------------------	---------------------	----------------

## 開催概要

名 称	2018年度GAPシンポジウム
日 程	2019年2月27日(水)10:35-17:30 ~ 28日(木)9:20-16:30
開 催 地	東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
参加費(資料代)	・主催・共催会員：10,000円 ・一般：15,000円 ・学生：2,000円 ・情報交換会参加費：3,000円
展 示	企業等による情報展示 (開催期間中) 出展社 募集中 お問い合わせください。
定 員	200名

## 2018年度GAPシンポジウム

主 催	一般社団法人 日本生産者GAP協会
共 催	農業情報学会 一般社団法人GAP普及推進機構 特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会
後 援	全国農業協同組合連合会
事務局	(一社)日本生産者GAP協会 教育・広報委員会、㈱AGIC大会事務局
対 象 者	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・検査・認証機関、研究機関、その他
テーマ	『東京2020後の農産物販売とGAP戦略』 1日目テーマ「GAP戦略をEUナンバーワンのスペインに学ぶ」/2日目テーマ「マーケットの変化に対応する産地のGAP戦略」
開催趣旨	<p>「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、組織委員会が目ざす持続可能な社会への貢献のために、大会に食料を供給する農業者にGAP農場認証や公的機関によるGAP農場確認を求めることになりました。これを契機に日本の多くの農業産地がGAPの管理水準を向上させ、結果として日本の農業と農産物流通の信頼が一層高まれば、オリンピックレガシーとして日本農業の振興に貢献することになります。</p> <p>本シンポジウムでは、EU先進諸国が要求するサステナビリティ（持続可能性）とフードセーフティ（食品安全）を実現して、ヨーロッパ最大の夏野菜産地になったスペイン・アルメリア地方の農業ビジネスモデルを参考に、東京2020後のグローバル化への対応策について、日本農業を守るという視点で議論を深めます。</p> <p>シンポジウム初日には、GAP認証制度で農家を束ねてEU一番の施設農業の都市となったエルヒド市の農業振興について、特別講演の講師マヌエル・ゴメス氏から以下の3点を中心に学びます。マヌエル・ゴメス氏は、元アンダルシア農業技術員で現在はエルヒド市議会の農業評議員長です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルメリア農産物の販売戦略とマーケティングの指導について</li> <li>・農家への営農指導の方法と農協が取りまとめるGAP認証について</li> <li>・これらを支援する地方自治体の農業政策のポイントについて</li> </ul> <p>日本生産者GAP協会では過去10回に亘ってアルメリア地方の農業ビジネスモデルと農場管理技術に学んで「GH農場評価」制度に反映させてきました。</p> <p>シンポジウム2日目は、日本国内でGH農場評価の教育に基づいて、産地のGAP戦略を目指して成果を上げている農業法人やJA生産部会、それらの産地を支援するJAグループGAP支援チームなどの取り組みについて、その実態の詳細をお聞きし、東京2020大会終了後の農業振興と地域のGAP戦略について議論を深めます。</p>

## 2018年度GAPシンポジウム事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.

[Home  
ホーム](#)[Symposium  
開催概要](#)[Program  
プログラム](#)[History  
過去のシンポジウム](#)[Application  
参加申込](#)[Access  
アクセス](#)

## 2018年度GAPシンポジウム

## プログラム

- ▶ 2月27日
- ▶ 2月28日
- ▶ 展示

## プログラム：2月27日(水)

## 「GAP戦略をEUナンバーワンのスペインに学ぶ」

『東京2020大会後の農産物マーケットの変化を予想し、日本の農業が進むべきGAP取組みの方向について、世界で農場認証が始まって以来EUで実力を発揮し、最も有名なGAP先進国スペインのアルメリア農業の優良事例から直接学びます。』

9:50～ 10:35	受付	
10:35～ 10:40	開会	
10:40～ 11:00	主催者挨拶： アルメリアの農業事情と日本生産者GAP協会のGH農場評価	日本生産者GAP協会 常務理事 山田正美
11:02～ 12:00	基調講演： スペインには、日本でGAP推進のヒントがいっぱい！	日本生産者GAP協会 理事長 田上隆一（AGIC）
12:00～ 13:00	昼休憩／情報展示	
13:00～ 13:50	講演： 世界の農産物流通事情と日本の対応について	農協流通研究所 理事長 立石幸一
13:52～ 14:22	海外情報： GAP先進地スペインツアー報告(画像で見るアルメリア農業)	株式会社AGIC 田上隆多
14:22～ 14:42	休憩／情報展示	
14:42～ 15:50	特別講演： 2000年以降のアルメリアは持続可能な農業が目標。民間のGAP農場認証でEUマーケットの制覇に貢献した農業技術員(テクニコ)の指導内容と、農家を結集して戦力とした農業協同組合の生産事業と販売事業の戦略的なモデルについてお聞きします。	スペイン・エルヒド市農業評議員 マヌエル・ゴメス
15:50～ 16:00	質問用紙回収・準備	
16:00～ 17:30	総合討論： マヌエル氏とアルメリア視察経験者が東京2020後に実現すべき日本農業のあるべき姿についてさらに議論を深めます。	パネリスト：講演者 司会：田上隆一
17:45～ 19:30	『情報交流会』：マヌエル氏に直接聞こう！	

## プログラム：2月28日(木)

## マーケットの変化に対応する産地のGAP戦略

『東京2020を契機に動き始めた農産物マーケットの変化に対応するため、GH農場評価の教

育に基づいてGAP認証を取得し、地域農業の生き残り戦略を目指している法人と農協およびJAグループの最新事例から学び、ポスト東京2020を考えます。』

9:00～ 9:20	受付／展示交流	
9:00～ 9:30	受付／展示交流	
9:30～ 10:00	講演： 卸売、スーパー、ケータリング事業者の変化に対応する	日本生産者GAP協会・理事長 田上隆一（AGIC）
10:02～ 10:40	講演： 認証取得の支援とGH農場評価制度の普及拡大	JA全農 GAP推進課長 門永章宏
10:42～ 11:30	講演： 現地アドバイザーによる支援と今後の普及発展	JAグループGAP支援チーム 高橋昭博
11:30～ 12:30	昼休憩／展示交流	
12:30～ 13:10	報告： マーケティングを意識したGAP農場認証	たじま農業協同組合 担い手支援センター担い手支援課 谷垣 康
13:12～ 13:52	報告： JAが組織で取り組むGAP農場認証の課題と対策	北九州農業協同組合 西部営農経済部 営農課（若松） 野上哲也
13:54～ 14:34	報告： 成長と進化で誠実に農業に向かう証としてのGAP農場評価	J R九州ファーム 生産部 飯干寛之
14:34～ 15:00	休憩／情報展示	
15:00～ 16:30	全体討論： サプライチェーンにおける生産者信頼としてのGAP農場認証を東京2020後に実現させる農産物販売の戦略として考えます。	パネリスト：講演者 司会：田上隆多
16:30	閉会	
<b>展示</b>		

- NECソリューションイノベーター株式会社
- 株式会社つくば分析センター
- 株式会社アジア地域連携研究所

[▲ ページのトップへ戻る](#)

※内容につきましては、変更になる場合もございますので、その旨ご容赦下さい。

※講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。（敬称略）

